

市シルバー人材センター会員有志が 市内8箇所にも門松を設置

12月28日、市シルバー人材センターの有志の方々が、市役所正面玄関前に門松を設置しました。門松は手作りで、数日前から竹の切り出しなどの準備をしていました。当日は切り出した竹や縁起物の植物を植え込み、完成させました。

門松は市役所正面玄関前のほか、能美ふるさとミュージアムなど市内8箇所に設置されました。



市シルバー人材センター会員有志の方々と井出市長

さらいが本格再開に向け プレオープン

令和2年9月から、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館となっていた「ふるさと交流研修センターさらい」が、12月にプレオープンしました。

昨年10月、株式会社リナシエンテマジックが新たに「さらい」の指定管理者となりました。新体制では「親しみやすい健康・文化」をコンセプトに、宿泊や研修利用、レストラン営業などを継続するほか、新たにさまざまなコンテンツを導入していく予定です。施設全体のオープンは3月を予定しています。

2月28日までのプレオープン期間中は、一度2千円(税込)を支払えば、全8種16本のフィットネスプログラムを何度でも受講できます。



ふるさと交流研修センターさらい

問／観光交流課
(☎58 2211) 図58 2297

建設機械を題材とした絵本を子どもたちに コマツ栗津工場が寄贈

コマツ栗津工場から建設機械を題材とした絵本を寄贈していただきました。

12月22日、福田忍総務部担当部長らが市役所を訪れ、井出市長に絵本を贈りました。井出市長は「市内施設で大切に使用させていただきます」と御礼を述べました。

絵本は図書館や保育園、児童館など子どもたちが利用する市内8施設に設置しました。



左から福田忍総務部担当部長、総務部広報課堀田紗恵子さん、井出市長、総務部加端千香子広報課長

石川県エルピーガス協会小松支部が ガスコンロ・ボンベ32セットを寄贈

石川県エルピーガス協会小松支部からカセットコンロ・ボンベ32セットを寄贈していただきました。

12月16日、元田昭彦支部長らが市役所を訪れ、井出市長に目録を手渡しました。井出市長は「市内の備蓄倉庫へ配備し、災害時の避難所で役立てます」と御礼を述べました。



左から高義朗副支部長、元田昭彦支部長、井出市長

辰口中央小学校父母と先生の会「優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞

辰口中央小学校父母と先生の会は、「令和3年度優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞しました。同会では、辰口中央小学校運営協議会と連携して、学校・家庭・地域が一体となった「安全・安心・充実」の学校づくりを展開しています。児童の安全・安心を確保するために、「登下校の見守り」「自然災害対応などのための緊急支援隊設立」「児童の朝の検温チェック」「危険箇所マップ作り」など、取り組んでいます。また学習の充実のために、地域ボランティアによる「学習支援」「ふるさと学習」「朝の読み聞かせ」「計算カード支援」など、児童の学びの環境づくりを図っています。そして親子・地域がイ

ンターネットとの付き合い方を学んだり、同校運営協議会が活動をホームページや学校だよりなどで知らせたりしています。学校・家庭・地域が連携・協働した取り組みを進める中で、児童の豊かな学びが高まるとともに、地域への愛着が深まり、よりよい学校づくりが評価されました。



登校する児童の安全を見守る地域の方々

長年のご協力に感謝 統計調査員・指導員6名が表彰受賞

12月22日、市役所で令和3年度統計功績者等表彰伝達および受賞報告会を行いました。

総務大臣表彰は、南一美さん（下開発町）、三浦英子さん（寺井町）、本真知子さん（緑が丘）が受賞されました。また県知事表彰は、木藤和美さん（大長野町）が受賞され、県統計協会会長表彰は、木村典子さん（緑が丘）、西谷直美さん（未信町）が受賞されました。6名の方々には、長年にわたり各種統計調査に従事され、豊富な経験に基づき、迅速で正確な調査や的確な指導が評価されました。井出市長は「健康に留意し、調査員・指導員として今後もご協力をお願いします」と述べました。



後列左から木村典子さん、木藤和美さん、西谷直美さん、前列左から三浦英子さん、井出市長、南一美さん、本真知子さん

防災士の本村康二さんが県知事表彰受賞を報告

1月12日、令和3年度の石川県自主防災組織等知事表彰の防災士部門を受賞した本村康二さん（和光台）が市役所を訪れ、井出市長に受賞を報告しました。

この表彰は、地域の防災力向上に貢献した自主防災組織および防災士に贈られるものです。本村さんは国造防災委

員会の設立に尽力され、設立当初から会長として活躍するほか、和氣小学校防災クラブで講師を務めるなど、多岐にわたる防災活動が評価されました。本村さんは「子どもたちを含め多くの方の防災意識が向上するよう努めます」と今後の意気込みを語りました。



本村康二さん（左）と井出市長

市交通安全協会と市街頭交通推進隊が交通安全祈願



今年一年の交通安全を祈願する参加者たち

1月8日、能美警察署や町会連合会、能美市交通安全母の会、能美市老人クラブ連合会など、各団体の代表9名が参加し、白山比咩神社で交通安全祈願祭を開催しました。

祈願祭では、神社で祈願した後、今年の交通安全故撲滅を願って、福たる

まの左目を入れました。今年一年、市内で交通事故死亡事故ゼロを達成した暁には、だるまの右目を入れる予定です。井出市長は「交通事故死亡事故ゼロ、そして安全・安心な能美市を目指すために、皆さまのご協力をお願いいたします」と述べました。

行政相談委員の清水一雄さんが総務省中部管区行政評価局長表彰を受賞

12月23日、行政相談委員の清水一雄さん（岩内町）らが市役所を訪れ、総務省中部管区行政評価局長表彰状および全国行政相談委員連合協議会会長感謝状の贈呈が行われました。清水さんは、12年余りの長きにわたり、市民からの行政相談や小学校への出前講座などの啓発活動に尽力されました。その優秀な実績が評

価され、表彰を受賞されました。また行政相談委員活動の支援に尽力した功績のある団体として、市に感謝状が贈呈されました。

清水さんは受賞に際し「相談できる窓口があるということが、市民の安心につながると思います。今後も行政相談委員の活動にご協力をお願いします」と述べました。



左から総務省行政評価事務所の松永康司所長、行政相談委員の清水一雄さん、井出市長、行政相談委員の中浦八重子さん、行政相談委員の本多他家志さん

オンラインでロシア風新年会を満喫

12月19日、辰口福祉会館で、姉妹都市ロシア・シレホフ市の市民と交流を深めようと、「ロシア風新年会」をオンラインで開催しました。令和2年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、今回の開催は2年ぶりとなりました。

新年会では能美市と

シレホフ市の子どもたちが、お互いの国の伝統的なお正月の祝い方や過ごし方を紹介し合いました。また市在住でロシア出身の坂口アンナさんが講師を務めた折り紙体験では、ロシア版サンタクロースとして親しまれる「デド・モローズ」作りを楽しみました。



ロシア・シレホフ市の子どもたちとオンライン交流する参加者たち

市内企業の魅力を発見 第6回企業訪問ツアーを開催

11月26日、金沢学院大
学生を対象とした市内企
業の研究とキャリア形成
の機会提供として「第6
回 #KnowMe 能美ツアー
for 金沢学院大 発見ッ
美の企業の魅力、発見ッ
アー」を開催しました。
経営情報部の奥井
めぐみ教授、加藤里紗講



株式会社タガミ・イーエクスを担当者から説明を受ける学生たち

多様性や協働の大切さ学ぶ グローバル教育を実施



12月14日、宮竹小学校3年生と6年生を
対象に、「グローバル・コミュニケーション・
プログラム(GCP)」を実施しました。
これは北陸先端科学技術大学院大学多様
性研究チームの川西俊吾特任教授、元山琴菜
講師と、市が共同で行うグローバル教育です。
児童たちは互いの違いを認め合い、支え合う
大切さや協働の大切さについて学びました。
また16日、市内保育園の保育士を対象と
したオンライン研修を実施し、多様性の尊
重について学びました。

歳末助け合い 集まる善意の心

12月10日から12日にかけて、寺井地区公
民館で歳末助け合い入札展が開催されまし
た。今回は著名作家の九谷焼をはじめ、皿
などの日用品、書や絵画など176点が寄
贈され、163人が入札に参加しました。
20日には、寄附金の贈呈式が市役所で行
われました。収益金は市商工会の寄附金
20万5千円を加えた112万1879円
が、主催者代表である市商工会の本裕一
会長および県陶磁器商工業協同組合の東浩一
理事長から、井出市長を経て、市共同募金
委員会の田上好道会長に手渡されました。



田上好道会長(前列左から2人目)に寄附金が手渡されました

寺井高校1年生に向け 市内企業紹介セミナーを開催

12月9日、寺井高校1
年生を対象に「市内企業
紹介セミナー」を開催し
ました。このセミナーは
寺井高校生が市内企業に
触れ、関心を高めること
を目的に実施しました。
生徒115人が参加
し、株式会社オンワード
技研、小松マテール株式



市内企業の担当者から説明を受ける寺井高校1年生

防火・防災への決意新たに 能美市消防団出初式

1月8日、本年が火災のない一年になることを
願い、新春恒例の「能美市消防団出初式」を防災
センターで行いました。今年も人数制限などの感
染拡大防止対策を講じました。
式では、寺井分団の1名が石川県知事から功勞
章の表彰を受け、辰口分団の3名が井出市長から
永年勤続功勞章の表彰を受けました。また昨年中
止となった服務規律点検および初放水を実施し、
女性分団「能美の女組」も初めて参加しました。
団員らは消防団としての職務遂行の決意を新たに
しました。



服務規律点検に初めて参加する女性分団「能美の女組」

- 表彰者
- 石川県定例消防表彰
功勞章
岡田 哲司さん (寺井分団)
 - 能美市消防表彰
永年勤続功勞章
中川 広幸さん (辰口分団)
本田 吉秀さん (辰口分団)
北出 哲司さん (辰口分団)

文化財を守れ 火災防ぎよ訓練を実施

1月16日、文化財防火デーに伴う火災防ぎよ訓
練を西任田町西大御神社一帯で実施しました。
訓練は西任田町の協力を得て実施し、西任田町
自衛消防団、赤井町自衛消防団、能美市消防団
能美市消防本部が参加しました。周辺地域が断水
状態で消防水利が不足している中、市の給水車を
活用して、市指定文化財「七福の松」を警守する
想定で行いました。



主なできごと

消防職員の防火衣・防火ヘルメットを更新



更新した防火衣・防火ヘルメットを着用する消防職員

火災時に安全な消火活動などを行うため、
防火衣および防火ヘルメットを、防衛省の
補助を受け、更新しました。
防火衣は夜間の視認性が向上し、さらに
耐火性が強化され、安全で快適なものにな
りました。
また従来使用していた防火ヘルメットは、
頭頂部のみを保護していましたが、更新し
たものは前頭部、後頭部、右側頭部、左側
頭部も保護し、より安全になりました。
今後も消火活動などを安全・円滑に行うこ
とで、市民の安全・安心の確保につなげます。

市消防団員のカバー長靴を更新

能美市消防団員が火災時に着用する黒ゴムカ
バー長靴を、令和3年度コミュニティ助成事業
を活用し、更新しました。
火災現場で着用することで、火災の熱や火の粉
などから脚を守ります。また靴には踏み抜き防止
の鉄板が入っているため、がれきなどが散乱す
る現場においても安全
な作業が可能となりま
す。
今後の消防団員のさ
らなる活躍が期待でき
ます。



この事業は宝くじの社
会貢献広報事業で行
われて、宝くじの助成で
ます。



更新したカバー長靴